

異, 第18回日本薬物動態学会年会, 2003, 10, 札幌.

医 薬 品 化 学

Medicinal Chemistry

薬 化 学 研 究 室

Bioorganic Chemistry

教授 井上 将彦 Masahiko Inouye
助手 藤本 和久 Kazuhisa Fujimoto
助手 阿部 肇 Hajime Abe

◆ 著 書

- 1) 井上将彦, 阿部 肇: 「先端化学シリーズⅢ」
日本化学会編, 91-97, 丸善, 東京, 2003.
- 2) Inouye M. and Takase M.: Recent Research
Developments in Organic Chemistry Vol.7,
141-153, Transworld Research Network,
Kerala, 2003.

◆ 原 著

- 1) Takase M. and Inouye M.: Highly Efficient
Recognition of Native TpT by Artificial Ditopic
Hydrogen-Bonding Receptors Possessing a
Conformationally Well-Defined Linkage. *J.*
Org. Chem., 68:1134-1137, 2003.
- 2) Takase M., Morikawa T., Abe H., and
Inouye M.: Stereoselective Synthesis of
Alkynyl C-2-Deoxy- β -D-ribofuranosides via
Intramolecular Nicholas Reaction: A Versatile
Building Block for Nonnatural C-Nucleosides.
Org. Lett., 5:625-628, 2003.

◆ 総 説

- 1) 阿部 肇, 井上将彦: 疎水性ポケット分子による
ヌクレオチド認識の現状と将来. *未来材料*, 3:28-
34, 2003.

◆ 学会発表

- 1) 高瀬雅祥, 森川智幸, 阿部 肇, 井上将彦:
Nicholas型分子内環化反応を用いたアルキニルC-2-
デオキシ- β -D-リボフラノシドの立体選択的合成.
日本化学会第83春季年会, 2003, 3, 東京.
- 2) 老本名津子, 勝野かほり, 藤本和久, 井上将彦:
種々の長さや堅さを有するペプチドクロスリンク
剤ライブラリー. 日本化学会第83春季年会, 2003,
3, 東京.
- 3) 豊吉哲也, 藤本和久, 井上将彦: 自己集積型水
素結合部位を有する新規ポルフィリンユニットの
構築とその物性. 日本化学会第83春季年会, 2003,
3, 東京.
- 4) 脇 稔, 阿部 肇, 井上将彦: エチニルピリジ

- ンオリゴマーの合成と糖認識能. 日本化学会第83春季年会, 2003, 3, 東京.
- 5) 馬渡洋介, 阿部 肇, 藤本和久, 井上将彦: ピレン骨格を有する水溶性シクロファン合成とその芳香族化合物認識能. 日本化学会第83春季年会, 2003, 3, 東京.
 - 6) 高瀬雅祥, 阿部 肇, 井上将彦: DDA/AAD型の水素結合対を用いたDNA様自己会合オリゴマーの開発. 日本化学会第83春季年会, 2003, 3, 東京.
 - 7) 藤本和久, 豊吉哲也, 井上将彦: 自己集積型ポルフィリンホスト分子の分子認識能. 日本薬学会北陸支部第108回例会, 2003, 7, 石川.
 - 8) 町口博志, 阿部 肇, 井上将彦: ピリジン・ピリドン構造よりなる大環状化合物の合成. 第9回機能性ホスト・ゲスト化学研究会サマーセミナー, 2003, 8, 福岡.
 - 9) 森泉聖孝, 藤本和久, 井上将彦: 空間配置を規定した新規ビスピレニルインターカレーターの開発. 第9回機能性ホスト・ゲスト化学研究会サマーセミナー, 2003, 8, 福岡.
 - 10) 老本名津子, 藤本和久, 井上将彦: ペプチドクロスリンク剤ライブラリーの開発とそのペプチド二次構造に与える影響. 平成15年度有機合成化学北陸セミナー, 2003, 10, 富山.
 - 11) 森川智幸, 高瀬雅祥, 井上将彦: アルキニルC-ヌクレオチドを単位構造とする人工DNAの開発. 平成15年度有機合成化学北陸セミナー, 2003, 10, 富山.
 - 12) 脇 稔, 阿部 肇, 井上将彦: 糖との水素結合を駆動力とする合成オリゴマーのキラルらせん誘起. 平成15年度有機合成化学北陸セミナー, 2003, 10, 富山.
 - 13) Abe H., Waki M., and Inouye M.: Oligo (ethynylpyridine): a Novel Molecular Device for Saccharide Recognition. TOMECS International Symposium, 2003, 10, Toyama.
 - 14) 藤本和久, 清水久夫, 井上将彦: ピレン・エキシマー/モノマー発光のスイッチングを利用したモレキュラービーコン. 平成15年度光化学討論会, 2003, 11, 島根.
 - 15) 藤本和久, 馬渡洋介, 阿部 肇, 井上将彦: ピレン骨格を有する水溶性シクロファンを用いたヌクレオチド認識. 日本薬学会北陸支部第109回例会, 2003, 11, 富山.
 - 16) 阿部 肇, 脇 稔, 町口博志, 井上将彦: メタ架橋エチニルピリジンオリゴマーの合成と分子認識特性. 第30回ヘテロ原子化学討論会, 2003, 12, 富山.
 - 17) Fujimoto K., Shimizu H., and Inouye M.: Development of a New Class of Molecular Beacons Utilizing a Switching between Pyrene Monomer and Excimer Emissions: Highly Sensitive DNA Probes. First International Symposium on Biomolecular Chemistry, 2003, 12, Hyogo.

◆ その他

- 1) 井上将彦: 富山の産官学共同研究はどこまで進んでいるか: 人工 DNA に関する研究. 実業之富山, 36-39, 2003.